

## 2号機 原子炉機器冷却水系モニタの不具合に伴う放射能高警報点灯について

平成 17 年 9 月 20 日

発生号機	2号機(定期点検中) : 沸騰水型、定格電気出力84万キロワット
発生年月日	平成17年9月17日
発生時の状況	9月17日午後2時3分、中央制御室で「原子炉機器冷却水系モニタ放射能高( 1 )」の警報が点灯しました。 直ちに中央制御室の記録計を確認したところ、原子炉機器冷却水系モニタ( B )の指示が上昇していたため、現場において当該系統の水を採取し、放射能測定を実施しました。その結果、放射能は検出限界値( 2 )以下でした。 当該系統は、B系をA系に切り替え、問題なく運転を継続しています。 なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。
原因	原子炉機器冷却水系モニタ( B )の不具合と判断しました。
対策	当該モニタの取り替えを行いました。
<a href="#">お知らせ基準</a>	「表2-4」に該当します。

- 1 原子炉機器冷却水系は、原子炉系の各種機器の冷却を行う系統です。系統内を循環する冷却水には不純物等を取り除いた水(脱塩水)が用いられており、通常、冷却水に放射能は含まれていません。原子炉機器冷却水系は、( A )( B )の2系統あり、通常は1系統で運転しています。

原子炉機器冷却水系モニタは、冷却水中の放射能濃度を監視する目的で設けられています。

- 2 検出限界値は、試料の放射能測定において測定できる下限値のことです。

以上

## 2号機 原子炉機器冷却水系統概略図

